

第2回特別委員会会議録

日時 場所	平成27年10月30(金)17:30～19:00 三州倶楽部会議室
出席者	本田会長、春成元会長、上田前会長、上野座長、小森座長代理、伊藤委員、藺牟田委員、内田委員、大江委員、川人委員、神田委員、畠山委員、浜岡委員、牧之内委員、松元委員 久保監事、新徳監事 事務局宮本 (欠席委員) 飯山委員、岩崎委員、塩田委員、田中委員、中吉委員、三宅委員、吉留委員
議題	100周年を迎え当倶楽部の理念、今後のあり方について、当倶楽部春成元会長及び上田前会長からご意見を伺うとともに、久保監事から「21世紀宣言」の作成経緯を伺う。
配付資料	公益社団法人三州倶楽部の理念に関する件(参考資料)久保監事提出
元・前会長 意見等	<p>○21世紀を迎えるとき(平成8年頃)の主な取組み</p> <p>創立80周年、21世紀を迎えて「21世紀の三州倶楽部を考える会」を発足、50名位で1年半かけ9回勉強会を実施。</p> <p>勉強会の成果は「21世紀戦略ワーキングチーム」の10人で3回会合を持ち「21世紀の三州倶楽部の理念と方針」、「三州倶楽部21世紀宣言」として取り纏め平成9年定時総会で採択された。「理念」に加え「宣言」作成の狙いは、郷土はじめ外部に「理念」を強く表明するため。</p> <p>「理念」に基づき、具体的に次の3点について検討、実施</p> <p>①会館老朽化対応⇒建替案は法令面、移転案は費用面から断念、大規模な維持補修を実施</p> <p>②会員増強策⇒入会層の厚い年齢層への対応策が必要。法人のステータス向上が重要。各地区県人会との会合や旅行会実施など交流を図り、当倶楽部が中心となり全国鹿児島県人会を発足させた。</p> <p>③倶楽部の活性化⇒育英事業の充実や経営研究会発足等 育英事業を重要な事業と位置づけその充実を図るため、30百円(H11～H18)の育英基金を募集。</p> <p>○今後の取組みに対する意見</p> <p>会館は、維持補修して使い続けてもらいたい。</p> <p>三州倶楽部が心の拠り所、人生の道標になるよう新たな見地で運営されることを期待する。</p> <p>財政基盤の拡充⇒固定資産税の軽減、名誉会員からのご寄附等寄付の集め方の検討</p> <p>育英事業⇒現状の予算規模でより充実した事業を検討</p> <p>会員増強⇒準会員制度による若年層会員の増強の検討</p> <p>地方創生⇒関係団体と協力してシンポジウム開催等、ベンチャーや中小企業を支援するムード作りを検討</p>
座長発言	○会館問題については、現会館を継続使用する方針であり、管理委員会で耐震補強が検討されており、現在、耐震補強設計の段階にある。
各委員の 意見等	<p>○主な意見</p> <p>(理念)21世紀宣言は、今でも十分に通用するのではないか。</p> <p>(育英)過去実施していた懸賞論文を中止した理由は、応募数が少ないことや審査員の負荷が大きかったこと。</p> <p>(会員増強)会員を増やすには当倶楽部の良さを理解してもらうことが肝要、準会員制度による会員増加には慎重な意見があった。</p> <p>新たな企業に賛助会員になっていただけないか。</p> <p>会員が、入会して良かったと思われるような楽しい倶楽部としたい。</p> <p>会員増加のために文化・教育関連の委員会活動も必要。</p>
今後の 進め方	「理念」の草案を作成し1回議論する。その後、各個別WGにおいて論議を進め、煮詰まった後、再度「理念」を見直すこととする。

